

7月の新刊

7月14日(土)貸し出し開始

(新刊情報は毎月末更新の「並木北コミュニティハウス」[ホームページ](#)で)

【一般図書】

大友二階崩れ	赤神 諒	九州・豊後の戦国大名家に出来たお家騒動。揺れる家中で勢力争いに明け暮れる家臣たちの中で、吉弘鑑理は、一途に大友家への「義」を貫き、その弟の鑑広は数奇な運命で出逢った姫への「愛」を貫く。乱世に生きる男たちが命を賭して守り抜いたものとは。
居酒屋ぼったくり 9	秋川 滝美	東京下町にひっそりとある、居酒屋「ぼったくり」。名に似合わずお得なその店には、旨い酒と美味しい料理、そして今時珍しい義理人情がある。旨いものと人々のふれあいを描いた短編連作小説、待望の第9巻！全国の銘酒情報、簡単なつまみの作り方も満載！
レッドリスト	安生 正	記録的な寒波に襲われた東京で、原因不明の感染症が発生。死亡者が出る事態となり、厚生労働省の降旗一郎は原因究明にあたる。さらに六本木で女性が無数の吸血ヒルに襲われ死亡するという事件も勃発し…。予測不能な展開で仕掛ける衝撃サスペンス。
本のエンドロール	安藤 祐介	印刷会社の営業・浦本は就職説明会で言う。「印刷会社はメーカーです」。営業、工場作業員、DTPオペレーター、デザイナー、電子書籍製作チーム。印刷会社全面協力のもと、奥付には載らない本造りの裏方たちを描くお仕事小説。
空飛ぶタイヤ 新版	池井戸 潤	走行中のトレーラーから外れたタイヤは凶器と化し、通りがかりの母子を襲った。タイヤが飛んだ原因は「整備不良」なのか、それとも…。自動車会社、銀行、警察、記者、被害者の家族ら、事故に関わった人たちの思惑と苦悩。「容疑者」と目された運送会社の社長が、家族・仲間とともに事故の真相に迫る。圧倒的感動を呼ぶエンターテインメント巨編！
さざなみのよる	木皿 泉	小国ナスミ、享年43。その死は湖に落ちた雫の波紋のように家族や友人、知人へと広がり…。命のまばゆさを描く感動と祝福の物語。
敵の名は、宮本武蔵	木下 昌輝	少女を救うため避けられぬ戦いに命を賭す「クサリ鎌のシンド」、武蔵の絵に惹きつけられるも一対一の勝負に臨む「吉岡憲法の色」、武蔵と戦う宿命を背負った小次郎「巖流の剣」…。7人の敵たちの目に映った宮本武蔵の真の姿を描く歴史小説。
行動経済マンガ ヘンテコノミクス	佐藤 雅彦	なぜ、イチローは国民栄誉賞を辞退したのか。なぜ、そこでは500円のコココーラが売れるのか。なぜ、あなたは今日そのランチを選んでしまったのか。人間の経済行動の真実とその理論に迫る、「行動経済学まんが」。
そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ	血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。だが、彼女はいつも愛されていた。身近な人が愛おしくなる優しい家族の物語。
樽とタタン	中島 京子	小学校の帰りに毎日行っていた赤い樽のある喫茶店。わたしはそこで老小説家から「タタン」と名付けられた。常連客の大人たちとの、おかしくてあたたかな会話によってタタンが学んだのは…。忘れかけていた子どもの頃の思い出を、あざやかに甦らせる短篇集。
R帝国	中村 文則	朝、目が覚めると戦争が始まっていた。近未来、独裁政権下に生きる2組の男女。彼らの運命の先にあるのは、幸福か絶望か。やがて物語は、世界の「真実」に辿り着く。
風は西から	村山 由佳	大手居酒屋チェーンに就職し、繁盛店の店長となって張り切っていたはずの健介が突然、自ら命を絶った。恋人の千秋は悲しみにくれないながらも、健介の両親と協力し、健介の死の真相を知るため、大企業相手にとことん闘いぬくことを誓う。
凶犬の眼	柚月 裕子	所轄署から田舎の駐在所に異動となった日岡秀一は、懇意のヤクザから建設会社の社長だと紹介された男が、指名手配中の国光寛郎だと確信する。彼は自分が手配犯であることを認めるが…。警察vsヤクザの意地と誇りを賭けた、狂熱の物語。

☆ NHKテレビテキスト「きょうの料理7月号」「スタッフおすすめ雑誌」は閲覧できます。

なお、8月新刊貸出日(8月11日)から貸出いたします。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

